

公益社団法人日本建築士会連合会
女性委員会

全国女性建築士連絡協議会は、平成2年に東京で第1回目を開催後、各地域で毎年開催し今年で25周年を迎えました。女性委員会を立ち上げた初代女性委員長をはじめとして、全国の女性委員長ならびに女性委員皆様の努力の積み重ねで本日を迎えることができました。また、連合会長および担当副会長、事務局と多くの方々のご協力で継続ができたと深く御礼申し上げます。この25年間には、阪神淡路大震災を始めとして、新潟県中越地震、東日本大震災、台風による土砂災害や水害など多くの災害がありました。現地で災害にあつた方々と対応している多くの建築士の皆様にお見舞い申し上げます。

この教訓から、私たち建築士の役割は現地への支援活動とともに、常に忘れない情報発信や日ごろから防災として何ができるのかを問い続けていくことの重要性を認識しました。復興を風化させないため、高齢者や子供たちを守るために地域活動の活発化を目指します。

本年度は、メインテーマを「未来へつなぐ居住環境づくり」とし、「次世代に伝えたい、こと・もの・くらし」をサブテーマといたしました。25周年を迎えた私達女性建築士は、過去を教訓として、今を見つめ、これからの四半世紀にむけて伝えたいこと・もの・くらしを発信してまいります。

1日目の約200名の女性建築士が一堂に会する全体会では、基調講演に女性委員会を立ち上げた初代女性委員長村上美奈子氏をお迎えし、『全建女の立ち上げと居住環境づくり』をテーマにご講演いただき、引き続き異業種の女性技術者や学生をお招きし、20代から80代までの女性パネラーによりワークショップも含めた「くらし」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

2日目の分科会では、「震災①防災への取り組み」「震災②ボランティア活動の報告」「歴史的建造物と建物再生」「素材と環境共生住宅」「景観まちづくり」「子どもと住教育」「高齢社会と福祉住宅」「集まって住む」の8つのテーマのもとに熱心に討論を進めました。

それらの成果として、以下の点を、今年のアピールとして発表します。

1. 私たちは、今回の協議会を通し、女性建築士の使命を考え、これからの四半世紀を見据え子供や高齢者が安心できる防災を強化した「居住環境づくり」の構築を目指します。
2. 私たちは、今回の基調講演を通して、女性として社会進出を果たしている先輩の言葉をもとにこれから求められる「未来のくらし」を視野に入れた新しいくらしのあり方について取り組みます。
3. 私たちは、震災復興報告の情報発信を通し、忘れない・風化させない・続けていくことを基本に私たちを取り巻く「こと・もの・くらし」を見つめなおし、これからのくらしを守ります。
4. 私たち女性建築士は、性別や年齢、職種の枠を超えた様々な分野の専門家とのつながりの重要性を再認識し、これからの女性建築士の役割を次世代に伝えていきます。